

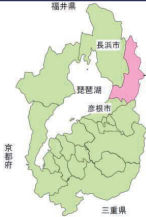
地域お茶の間創造事業

高齢者や障がい者など支援を必要とする人を地域で見守り、支えるため、地域で気軽に集まることができる「居場所」をつくり、意欲と能力のある元気な高齢者が活躍されています。

米原市地域お茶の間創造事業



米原市の概要



面積：250.39km² 人口：39,138人（H31.4.1時点）
 居住地面積：65.21km² 人口密度：156.3人/km²
 ・2005年、4町が合併して米原市となる。
 ・西に琵琶湖、北に伊吹山（1,377m）、南に霊仙山がそびえる。
 ・総面積の6割が森林。湖岸部は降水量は少ないが、伊吹エリアは積雪量の世界記録を持つほどの我が国屈指の豪雪地帯。
 ・滋賀県唯一の新幹線の駅を有するほか、名神高速道路・北陸自動車道ICも立地するなど近畿エリアにおける広域交通の要衝。



高齢者を取り巻く課題

- ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増え、**地域とのコミュニケーションが少ない。**
- 高齢化が進み、自治会役員や民生委員・児童委員の負担が大きくなっている。
- ひとり暮らし高齢者は、話し相手がない、買い物に困っているなどの不安が大きい。
- 意欲と能力のある**元気な高齢者は、地域活動への関心が高く、地域を支える側として活躍いただくことが期待されている。**

地域お茶の間創造事業とは？(H25～)

地域で気軽に集まる拠点『**居場所**』をつくり、**互助**によるコミュニティ構築と地域活性化を図る。



居場所づくり事業

おしゃべり・体操・認知症予防・子どもの見守り等



集まることが自然に見守り・介護予防に!!

元気高齢者の活躍

- ★訪問しなくても見守りができる
- ★みんなで頭と体を動かせば楽しく介護予防に



現在、27団体が市内で取組を展開中!!

地域支え合い活動事業

買い物支援・外出のお手伝い・配食サービス等



近所の方のお困り事を近所の方で解決!!

地域の見守り強化

- ★介護の専門職でなくてもできるおたすけ
- ★公的なサービスが入れないお困り事をおたすけ



地域お茶の間創造事業の成果と課題

- 成果 ① **地域の見守り体制の強化や高齢者のニーズ把握**ができた
- ② **住民同士の交流や高齢者の生きがいづくり**（ボランティアの元気づくり）
- ③ **地域で支え合う機運（互助）の高まり**（意識の変化）
- 課題 ①新しいスタッフの確保 ②参加者の固定化 ③既存団体との調整

紹介動画はこちらへ

YouTube

隣のお茶の間

検索

